

No.	10-2-1	場所	駒ヶ根市中沢	次世代への継承キーワード	前兆現象 / 早期避難 / 伝聞・言い伝え
名称	埋まった家と倒れた電柱			河川	新宮川
災害現象	土石流			支流	熊堂沢
補足事項					

上流でがけ崩れが約390ヶ所で発生し、土砂が新宮川に一気に流れ込んだ。竜東（伊那山地）では駒ヶ根市中沢新宮川、百々目木川流域一帯で、死者・行方不明5名、被災人員558名に及び人的被害と家屋や発電所の倒壊、橋の流失等の建物にも被害が生じた。

百々目木、大洞地区などでは、土石流によって60戸以上が流出全壊、農地のほとんどが失われた。

●体験談：〇〇

寝ていたら、妻が物凄い水で田んぼが流れそうだと言ってとんできた。急いで父とジョレンを持って行ったが、凄い水で四苦八苦していたら、母が「ナギが来たぞ！」と言ってとんできた。顔をあげたらすでに足もとまで泥が来ていて急いで逃げた。あっという間の出来事で母が来なければ泥に埋まってしまうところでした。一略一上の方で沢鳴りがした。見ると山が動いて来る。「逃げろ！」安全なところまで逃げてみたら、杉の林が立ったまま流れてきて、田んぼの平から落ちるところで倒れて、アッと言う間に畜舎をふっ飛ばし、家の前を通過した。一略一田んぼの入口に大きな石があって、何をするにも邪魔でハッパで取ると言ったら祖父が、あの石は大きなナギの除けになるからぜったい取ってはだめだ、と言われ其のままにしておいたお陰で、家も蚕室も無事災害から免れる事ができた。

（「濁流」p60 災害が大きな転機になった）

記 録



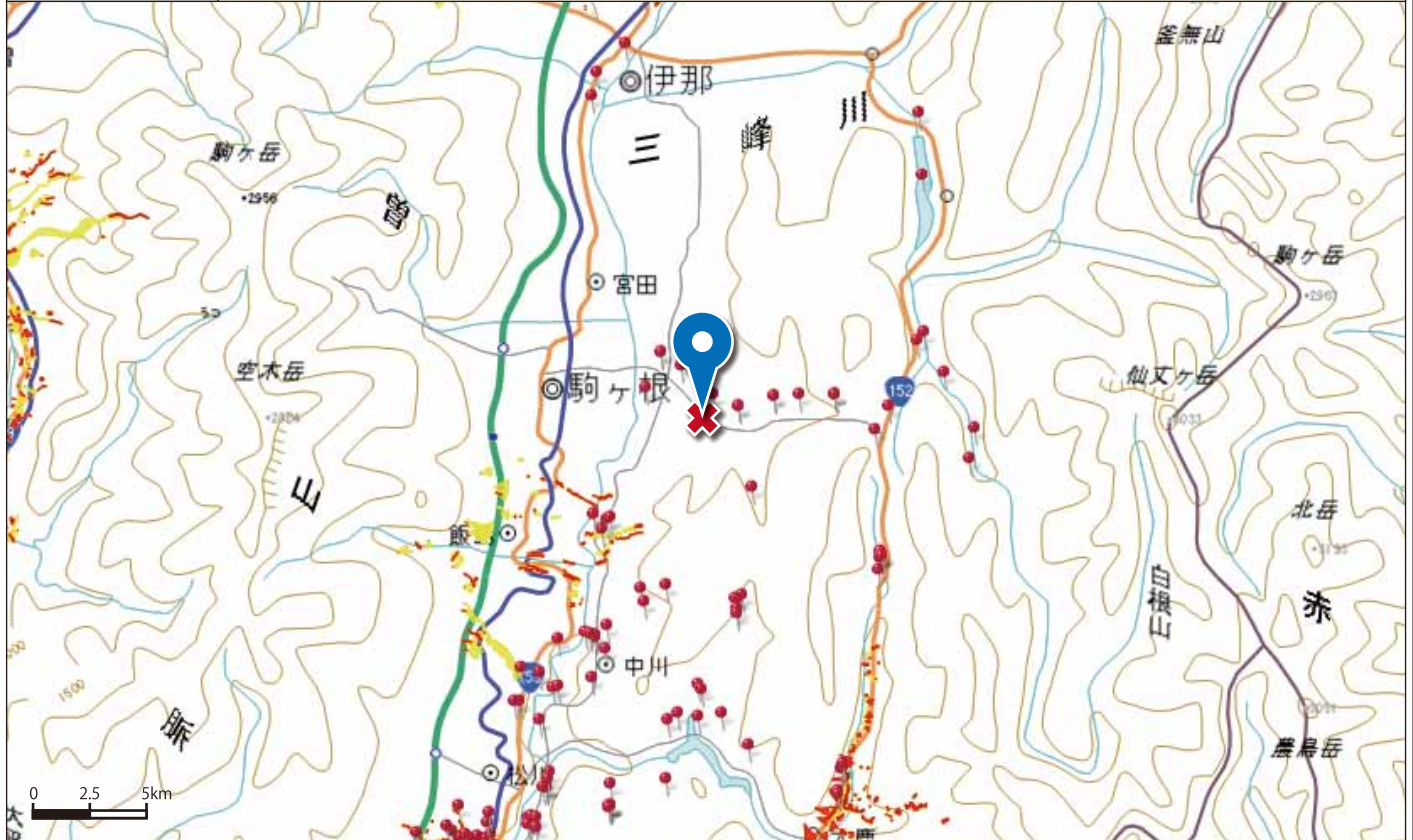
土石流によって埋まってしまった家屋と倒れた電柱

出典	「続・濁流の子」p.7/「濁流」p60 災害が大きな転機になった				
備考					

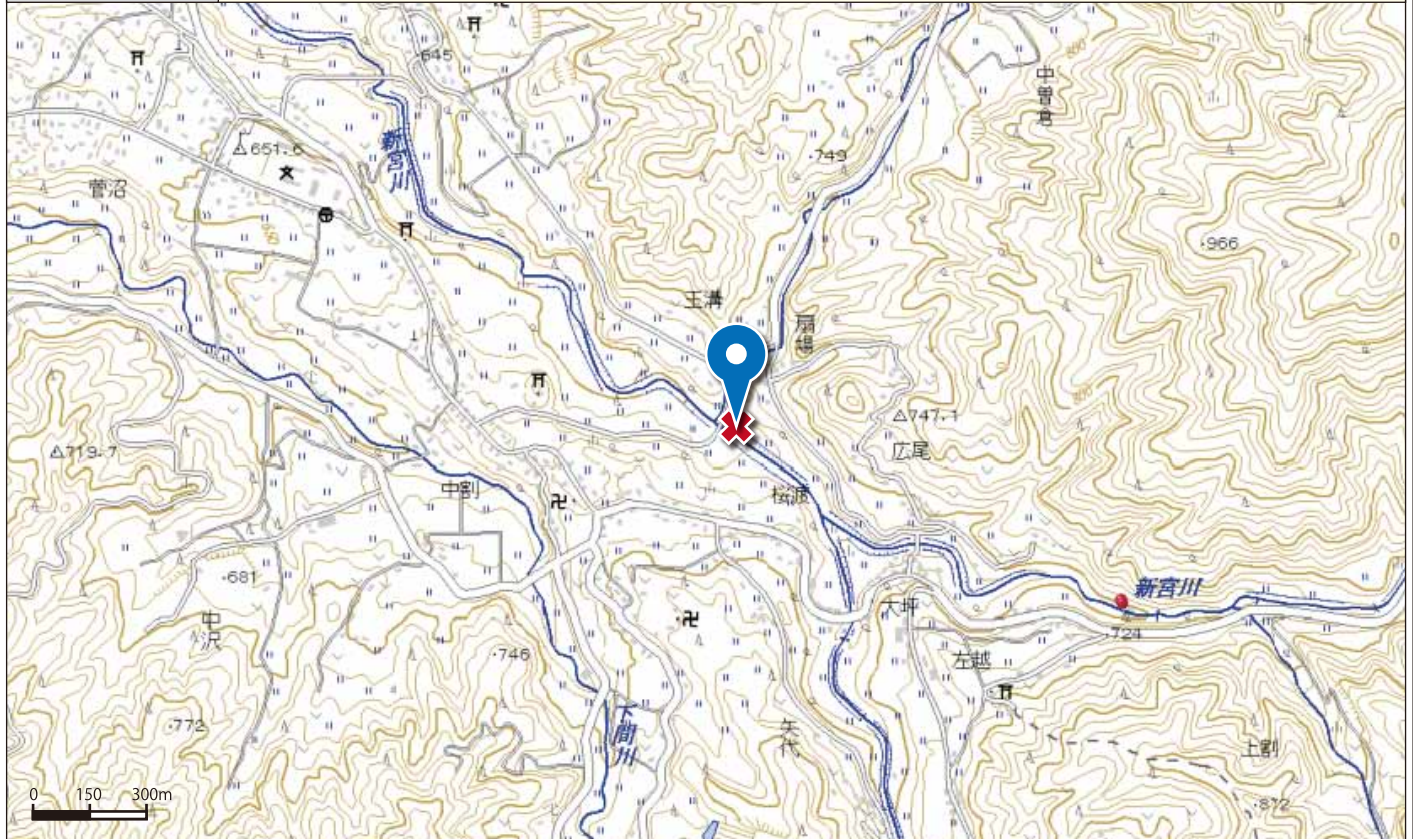
No.	10-2-1	場所	駒ヶ根市中沢	緯度	35.720538
-----	--------	----	--------	----	-----------

名称	埋まった家と倒れた電柱	経度	137.996601
----	-------------	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通用：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。